

回答については、質問時の基準に沿って回答しておりますので、現時点とは異なっている場合もございます。

Q138（尖圭コンジローム）

尖圭コンジロームについて

- 1．上記疾患を持つ物に対して、患部に使用した器機、リネンの消毒方法について
- 2．入浴に対して、他の患者と区別する必要があるか。

A138

尖形コンジロームはヒトパピローマ（乳頭腫）ウイルスの6型、11型（以下HPV6/11と略）の感染によって発症します。HPV6/11は分離培養することが出来ず、ヒト以外には感染させることが出来ないの
で、HPV6/11にどのような消毒剤を用いればよいか、またどの程度の熱で不活性化されるかなどの実験が出来ないため科学的に証明された消毒方法はありません。

HPV6/11の感染は患部の濃厚な接触感染でおきますが、尖形コンジロームの感染が成立するのは大部分性行為感染です。それ以外には出生時の産道内感染による母子感染が知られています。

いずれにしても病変のできている部分を濃厚に接触させるとともに小さい傷がしやすい状況です。濃厚接触がなく、傷がなければ感染することはないと考えてよいと思います。したがって、HPV6/11の感染性はそれ程強くないと考えられます。またHPV6/11は体の特別なところ、つまり性器や咽喉には感染しますがその他の臓器に感染することはまずありえません。以上のような疫学的状況から基本的な対策を考えてよいと思います。

しかし産婦人科診察で用いた器具などについてPCR法という非常に感度の良い方法で調べるとウイルスのかけらは検出できますので、このように濃厚に接触したものは一応消毒はした方がよいでしょう。

- 1．消毒剤については上記のように確立したものはありませんが、当院はB型肝炎ウイルスの患者に準じて行っています。濃厚に接触した器具はグルタール（ステリハイド®）を用いています。
- 2．通常の入浴方法では風呂や洗い場で感染させるようなことは考えにくいので、他の患者と区別する必要はないと思います。ただ、広汎な病変を持っている場合は、患者が座った場所にすぐに次の患者が座ったりする感染する可能性は理論的にはあり得るでしょうが、実際に起きたという報告はないようです。